

# 令和5年度 河津町教育委員会点検評価報告書

(令和4年度事務事業分)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

河津町教育委員会は、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和4年度の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者からの意見を付して報告するものです。

令和5年11月

河津町教育委員会

教育長

鈴木弘光

教育長職務代理者

飯田 守

委 員

渡辺寿子

委 員

植松智子

委 員

金指正和

関係法令

《地方教育行政の組織及び運営に関する法律》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

<目次>

○点検評価について ..... 1

○教育委員会評価委員による意見(外部評価)..... 2

○令和4年度河津町教育委員会の自己点検・評価シート

1 教育委員会の活動..... 6

2 教育委員会が管理・執行する事務..... 6

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務..... 7

参考資料

教育委員会組織図..... 9

## 点検評価について

河津町教育委員会評価委員会を開催し、委員の方々から、別添のように熱心かつ建設的なご意見を頂戴することができた。それらをふまえながら、今後の教育委員会の活動について以下の点などを中心により良いものにするよう努力していきたい。

### ◇教育委員会について

1. 重要施策の小学校統合は関係者の協力と理解のもとスタートを切ることができた。今後は、幼稚園、小学校及び中学校の関係性を深め、地域とともにある教育づくりを進めていきたい。
2. 総合教育会議などにより、町関係部局と連携を密にとり、教育行政に反映していきたい。
3. 学校・幼稚園において安全性が求められるものや、新たな教育に繋がるものは、国・県の動向に注視し、近隣市町の対応状況等を的確に把握しながら、スピード感をもって適切な対応をしていきたい。

### ◇教育委員会事務局について

1. 社会教育活動は、多岐に渡る事業に取り組んでいるが、町民のニーズの把握に努めるとともに、少子高齢化に伴う事業の見直しや内容の精査を進めていきたい。
2. 町民が生涯にわたり学習できる機会の拡充と環境整備を進めるため、必要な指導者の育成や講師の確保に努めていきたい。また、社会教育関係団体との連携をより緊密にし、相互に協力しながら生涯学習の推進を図っていきたい。
3. 文化の家を生涯学習の拠点とし、図書館利用者の増加を推進するとともに、生涯学習室や展示スペースを積極的に活用し、社会教育施設としての機能を生かした有効活用を図っていきたい。

## 河津町教育委員会評価委員による意見(外部評価)

### 「大項目1 教育委員会の活動」について

◇教育委員会の会議は、年間スケジュールを決め定期的に行われている。各学校への訪問、備品検査等により園、学校との連携が図られているので、今後も継続的に実施していただきたい。また、緊急な対応を要する事案が発生した場合には、臨時教育委員会を開催するなど早急な対応をされたい。

◇教育委員会と町部局との連携は必要であることから、総合教育会議は回数にこだわらず開催されたい。また、町の関係部局職員が出席して開催したことにより、町部局との連携が強化された。

◇コロナ対策の各種ガイドラインは、状況変化により見直しを行い対応されている。

### 「大項目2 教育委員会が管理・執行する事務」について

◇教育大綱及び第5次総合計画に沿って教育行政を推進されたい。

◇学校関係者と地域住民との関係性を深められたい。

◇小学校統合に伴う条例、規則等の改廃が適切に実行された。

◇教職員の心身のリフレッシュを支援する取り組みを検討されたい。

### 「大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について

- ◇学校教育では、学習支援員を配置し学習内容の理解度が向上している。また、臨床心理士やスクールカウンセラーによる特別支援巡回相談はコロナ禍による環境変化に対応するよう児童生徒のみならず、家庭との連携も深め、今後も継続した支援を実施していただきたい。
- ◇各学校では、学校と家庭が連携した感染症対策が取られ、学校での感染の広がりを防ぐことができている。
- ◇小学校統合は、保護者への説明、施設の環境整備、スクールバスによる通学方法の確保、各小学校からの物品の移動等が適切に実施され、新小学校開校に伴い大きなトラブルもなく、移行できたことは良かった。
- ◇GIGAスクール関係について、近隣の事業者による運用支援を実施し直接学校を巡回訪問することにより教職員に対する支援が拡充された。また、学校でも家庭でもインターネットが身近になっているので、情報モラル教育の充実も図られたい。
- ◇新規事業の平和学習は、戦争のもたらした惨状を肌で感じ、命の尊さや平和の大切さについて考える機会となる有意義な事業である。新規に取り組まれたことは評価できる。今後、拡充をお願いしたい。
- ◇幼児期からのフッ素洗口等による虫歯予防は、効果が出ている。統合小学校でも継続した予防対策をお願いしたい。
- ◇幼稚園での預かり保育は、前年度に預かり時間を延長したが、当該年度にさらに30分延長し18時00分としたことで利用者の利便性が向上した。今後も利用者のニーズをとらえ拡充も検討されたい。
- ◇子育て支援事業として、保護者負担軽減を図るため、給食費の1人月額1,000円の助成をしていることについて保護者の認識が低いので、町が給食費の一部を助成していることを周知されたい。また、国の物価高騰対策の臨時交付金を活用し、6ヶ月間、給食費を実質無償化したことにより更なる負担軽減が図られた。給食費の値上げもあったことから、助成の拡充について取り組んでいただきたい。

- ◇給食の地場食材は生産者の減少により確保が難しくなっているが、新たな仕入れ先の開拓や農産物以外の地場産品を取り入れるなどの工夫をし、継続するよう努力をされたい。
- ◇図書館事業のブックスタートや読み聞かせ会は長年継続して取り組み、子供たちの聞く姿勢などに成果が出ているので、今後も継続して取り組みたい。
- ◇社会教育事業では、小学生対象に「遊び名人塾」や「ふるさと緑の少年団」は異なる小学校区の子どもたちによる集団活動を実施している。また、小学校統合により事業の目的が達成された「遊び名人塾」については、事業を終了させる場合は、子どもたちが外での活動機会を得られるよう事業実施を検討されたい。
- ◇青少年の主張大会は多くの方が発表できるよう工夫をお願いしたい。
- ◇文化・芸術については、文化協会を中心に活動をしており、今後も引き続き事業に協力をお願いしたい。文化祭は感染症対策を講じ、バカテル公園で実施し多くの人に来場してもらい、文化の発信ができています。
- ◇「伊豆の踊子読書感想文コンクール」は、多くの方々に参加いただける工夫が行われている。また、新たな取り組みとして町所有の「伊豆の踊子」映画フィルムを活用した上映会も実施し、川端康成の小説「伊豆の踊子」ゆかりの地として、作品のすばらしさを伝え続けていく取り組みが図られている。
- ◇無形文化財の伝承については、地域での継承者不足により伝承保存のため出身者の協力を得なければならなくなっていることから、保存団体への支援を拡充されたい。
- ◇スポーツ大会の開催について、閉会とした町民体育大会に代わり新たに「スポーツ健康フェスタ」が行われ、町民のスポーツや健康に関する意識の向上へ取り組みが見られた。今後の方向性や開催方法について練り上げていただきたい。
- ◇社会教育関係団体について、少子高齢化が進む中での支援の在り方について検討願いたい。
- ◇子どもたちが河津町へ戻れる環境づくりをお願いしたい。

教育委員会の活動は、十分活動していると判断する。今後も多くの方々から意見集約しながら継続した活動をお願いしたい。

教育委員会評価委員(外部評価委員)

	氏名	備考
委員長	島崎 衛	スポーツ協会会長
副委員長	入慶田本昌伸	文化協会副会長
委員	稲本 温代	民生児童委員主任児童委員
委員	板垣 悠	町PTA連絡協議会会長

令和4年度 河津町教育委員会の自己点検・評価シート

大項目	中項目	小項目	点検評価
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議の開催 (2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信 (3) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信 (4) 教育委員会と事務局との連携 (5) 教育委員会と首長との連携 (6) 教育委員会の自己研鑽 (7) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①教育委員会会議の開催回数	定例会を12回開催した。
		②教育委員会会議の運営上の工夫	年度当初に定例会の開催予定を作成し、委員や学校訪問等での受入先の日程調整に役立った。
		①教育委員会会議の傍聴者の状況	一般の傍聴者なし。
		②議事録の公開、広報、広報、公聴活動の状況	会議録の公開請求、公聴活動はなかった。会議の開催について文化の家の掲示板及び記者会見に情報を提供した。
		教育委員会と事務局との連携	定例教育委員会に職員が出席した。
		教育委員会と首長との連携	河津町総合教育会議を2回開催し、町長部局との意見交換を行った。
		研修会への参加状況	静岡県市町教育委員会連絡協議会総会(書面決議)、研修会(オンライン)に参加した。
		①学校訪問	幼稚園及び各小中学校に各1回学校訪問、東小小学校の備品検査を行った。
		②所管施設の訪問	令和4年度園、学校以外の施設訪問はなかった。
		(1) 教育行政の基本方針の決定	本年度の該当はなかった。
		(2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規定の制定又は改廃に関する事	規則3件の制定、規則5件、要綱3件、要領1件、規定1件の一部改正、規則1件、要綱2件の廃止を行った。
		(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を述べる事	補正予算議案、令和5年度当初予算案について審議した。
		(4) 教育委員会所管に属する学校その他の教育機関の設置又は廃止に関する事	令和5年3月31日に東小小学校、西小小学校、西小小学校および南小小学校を廃止した。
(5) 果敢負担の教職員の懲戒及び果敢負担教職員たる校長の任免その他の進退について内申すること	本年度の該当はなかった。		
(6) 通学区の設定又は変更	本年度の該当はなかった。		
(7) 学校・その他教育機関の敷地の設定及び変更	令和5年3月31日に東小小学校および西小小学校の敷地を廃止した。		
(8) 教育委員会付属機関の委員の任命又は解任	学校医、学校評議員、社会教育委員、スポーツ推進員、青少年問題協議会委員及び専門委員、地区体育推進委員、就学支援委員会委員、学校給食運営審議会委員の追加の委嘱又は任命した。		
(9) 請願・陳情・訴訟についての処置の決定	本年度の該当はなかった。		
(10) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する事	町職員の人事異動に伴い、事務局職員及び幼稚園教諭の任免を行った。小中学校教職員の任免について、教育長から報告を受け県教育委員会に内申した。		
(11) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事	令和4年度事務事業の教育委員会点検評価委員会を開催した。		
(12) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定める事	学校教育指導の重点を定め、推進した。		
(13) 教科書採択に関する事	本年度の該当はなかった。		



大項目	中項目	小項目	細項目	担当係	点検評価（上段：実績 下段：評価）
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	1 幼児・学校教育の充実	(1) 学校教育全般	学校教育係	<p>◆臨床心理士と保健師の協力を得て、特別支援教育巡回相談を11回実施した。◆外国人語学指導助手（ALT）を配置し、小中学校を巡回して英語による外国語教育の充実を図った。◆令和5年4月の河津小学校開校に伴い、統合後も新小学校校舎として使用する南小学校の校舎の修繕、新校舎の設置、統合後の学校ICT教育実施に伴う校内通信環境整備、支障木の伐採等を実施した。併せて新小学校の校舎作成や各学校の備品等の集約・廃棄を実施した。◆東小・西小学校児童の通学のため、国補助金を活用しスクールバスとして29人乗りバス3台、14人乗り11台を購入した。スクールバス運行については、令和5年度から7年度までの3年間、株式会社伊豆バスとスクールバス運行業務を継続した。シンガーソングライターの新沢としひ氏に依頼して新小学校校歌作成については、令和4年12月に完成した。◆国の進めるGI-CASスクール構想については、学校でのサポートを実施するためのICT運用支援業務を委託し行った。◆各小中学校・幼稚園において、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症予防の対策を実施し、安全な学校運営に努めた。◆新型コロナウイルス感染症対応心地方創生臨時交付金を活用し、河津中学校武道場に空調設備の整備、耐用年数の過ぎた河津小学校低学年のタブレット端末900台の更新を実施した。◆新型コロナウイルス感染症対策で中止していた青山学院大学体験教室については、感染症予防対策を行いながら実施した。また平和学習事業として、命の尊さや平和の大切さを育む目的で、広島へ中学2年生2名を派遣した。</p> <p>◇知的・情緒などで特別な支援が必要な園児・児童・生徒それぞれが必要とする支援が受けられるよう、学校・健康増進課と連携したきめ細かい学習指導が実施できた。◇令和5年4月に開校した河津小学校について、様々な事前準備を開校前に完了し、令和5年4月の開校を問題なく迎えることができた。◇新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を活用し、各学校の施設や学習環境等を整備することができた。◇校外体験学習事業について、新規事業も含め、新型コロナウイルス感染症予防対策をして実施することができた。</p>
		1 幼児・学校教育の充実	(2) 幼稚園教育	学校教育係	<p>◆昨年度に引き続き、教育目標、思いを出して友だちと楽しむ遊び、「思いっきり遊ぶ子・仲よく遊ぶ子・自分のことができる子」の育成を重点目標に取り組んだ。◆幼稚園における交通安全教室や避難訓練を実施した。◆特別支援教育の観点からにおいて支援教諭の配置や専門員・関係機関と連携し適切な支援を行った。ことばの教室についても実施した。◆昨年度に引き続き、全学年を対象とした預かり保育を実施し、預かり時間を18時まで延長した。</p> <p>◇園内、園外でのさまざまな活動を通して、園の重点目標の達成に向け順調に運営している。◇園児、保護者及び職員との安全・安心に対する認識を高めることができてきている。◇園々の発達に応じた指導ができてきている。◇預かり保育については、延べ283人の利用があった。令和3年度より毎年預かり保育時間を延長し、利用者の利便性を向上させることができた。</p>
			(3) 小学校教育	学校教育係	<p>◆南小学校に学習支援員4名と特別教育支援員1名を配置し、西小学校に学習支援員1名、西小学校に学習支援員を各1名配置した。◆施設維持管理では、南小学校職員玄関引き戸、グラウンド遊具、グラウンド遊具、西小学校校舎ガラスブロック修繕、東小学校プール猿除けネットの修繕等を行った。</p> <p>◇学習支援員等の配置により、継続してきめ細やかな学習ができてきている。◇各学校施設修繕等を実施し、施設維持管理に努めた。</p>
			(4) 中学校教育	学校教育係	<p>◆基礎学力の定着を図るため、学習支援員2名を配置した。◆感染症予防対策を行いながら、昨年延期した3年生と2年生のの修学旅行を実施した。◆施設維持管理では、校舎外壁雨漏り修繕、体育館避難誘導灯修繕等を実施した。</p> <p>◇学習支援員等の配置により、継続してきめ細やかな学習ができてきている。◇各施設の修繕等を実施し、施設維持管理に努めた。</p>
			(5) 学校給食	学校教育係	<p>◆児童、生徒たちが、地域を再発見するとともに、地元の食文化や伝統料理に親しみ機会となるように、地元食材や地域の食文化を活かした学校給食を提供した。◆食育推進の一環として、朝市前食育グループの協力を得て地産産野菜を使った給食を実施している。◆食材の放射能検査については、県所有の放射能測定器の故障を機に実施をとりやめた。◆昨年度に引き続き、アレルギーマスター等で牛乳が飲用できない子どもへ返金を実施した。◆今年度は地方創生臨時交付金を活用し、10月から3月の6か月間給食費の補助を行い、園児児童生徒の給食費を実質無償とした。◆センターの施設については、経年劣化による対応として、厨房機器、自動ドア、空調設備の修繕等を行った。</p> <p>◇「安心・安全」とともに「食育」を給食事業の主要目標とし、地産地消を進めた。◇各施設の修繕等を実施し、施設維持管理に努めた。◇地方創生臨時交付金を活用し、児童生徒保護者の給食費負担を軽減することができた。</p>

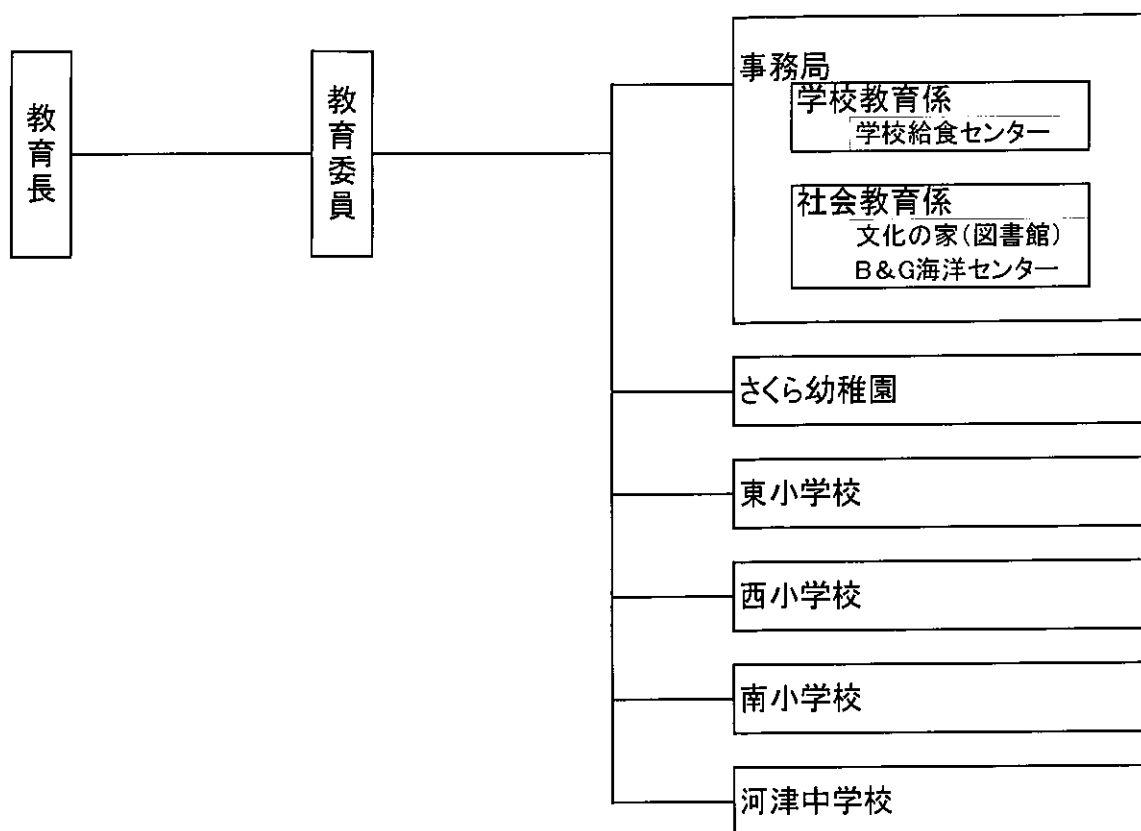
令和4年度 河津町教育委員会の自己点検・評価シート

大項目	中項目	小項目	細項目	担当係	点検評価（上段：実績 下段：評価）
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		2 生涯学習・社会教育の充実	(1) 図書館の利用推進	社会教育係	◆ブックスタート(毎月1回)、乳幼児・小学生向けのおはなし会を行っている。図書館イベントとして大人向けの読書会(2回25人)や子ども向けのブックラマング教室(2回15人)を行った。◆子どもと大人を対象にスタンプラリーを実施し読書推進活動の充実を図った。◆第6回「伊豆の踊子」読書感想文コンクールを開催し、最優秀賞1名、優秀賞4名を選出した。 ◇乳幼児から児童まで、一貫した読み聞かせの機会をつくることができ、図書館の利用推進や読書への関心が高められている。
			(2) 成人学習	社会教育係	◆ワリアンキルト講座(4回、10名)、フラワーアレンジメント講座(4回、8名)を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため寿大学については中止とした。 ◇感染症対策のため中止していた生涯学習講座を再開し、好評を得た。◇寿大学は高齢者の生涯学習の機会として定着しているが、令和4年度も実施を見送った。
4 青少年の健全育成		2 生涯学習・社会教育の充実	(3) 家庭教育	社会教育係	◆家庭教育学級を幼稚園、小学校、中学校に開設し、興味や目的に応じて講話や体験活動等を行った。◆かわづっこ子育てねっとに委託し、図書館や学校で年間を通じておはなし会やブックトーク等を実施した。 ◇家庭教育学級は、企画・実行力の育成や、家庭内でのように児童・生徒に控えていくかを考えさせる機会となった。◇かわづっこ子育てねっとでは、お楽しみ会や読み聞かせ等を通して、保護者への子育てサポートや子どもの社会性を養うとともに、子どもの読書活動の推進にもつながっている。
		3 生涯スポーツの振興	(1) スポーツ大会の開催	社会教育係	◆町民にレクリエーション体験と健康の大切さを意識してもらうため、河津町スポーツ・健康フェスタを開催した。◆B&G杯ミニサッカー大会(4チーム)を行った。◆県市町対抗駅伝競走大会に河津町代表選手団として出場した(町の部12チーム中9位)取組賞を受賞。第51回下田河津駅伝競走大会を開催した(参加32チーム)。 ◇町民体育大会に替わるイベントを実施し、町民のスポーツと健康に対する意欲の向上や参加機会の充実を図った。◇市町駅伝競走大会は、練習の機会が、指導者の確保、育成にもつながっているとともに陸上を通じた世代間の仲間たちとの交流の場となっている。
5 地域文化の継承と創造		1 郷土を愛し、心ゆたかに人を育てるまちづくり	(2) スポーツ教室・レクリエーションの開催	社会教育係	◆スポーツ推進員の協力のもとランニングイベント(4回、参加者28人)、E-BIKE体験会(1回、参加者4名)を開催した。シニアクラブとふるさと緑の少年団のグランドゴルフ大会を開催し交流を図った。春と秋に健康づくりハイキングを実施し、(第1回18名、第2回26名)が参加した。 ◇新たにスポーツイベントを取り入れ、多くの参加者から好評を得た。
			(1) 青少年健全育成の環境整備	社会教育係	◆青少年問題協議会を開催し、関係者による情報交換を図った。(2回) ◆非行防止夜間パトロールを実施した。(2回) ◇当町では協議会や夜間パトロールで問題となる事案がなく、青少年の育成が健全に行われている。
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		2 生涯学習・社会教育の充実	(2) 青少年の社会参加促進	社会教育係	◆第21回青少年の主張大会を開催した(小学校6年生から高校1年生 参加者8人)。 ◇内容は幅広く、論理的に自分の主張を発表しており、次代を担う青少年が広い視野をもち物事を考える力を養う機会となっている。
			(3) 青少年活動の充実	社会教育係	◆遊び名人塾(5回161人)、ふるさと緑の少年団(5回42人)、親子やきものづくり教室(8組20人)、親子料理教室(4組15人)を実施した。ふるさと緑の少年団では、新たにジオ学習に取り組んだ。また、サマーキャンプを再開し実施した。◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、遊び名人塾の体験活動は中止とした。 ◇遊び名人塾とふるさと緑の少年団は、いずれも異年齢かつ異なる小学校区の児童たちによる集団活動を実施しており、町内の子どもたちの交流の場となっている。特にふるさと緑の少年団では班活動による共同作業を通じ、協力し助け合う姿勢の育成ができています。◇親子やきものづくり教室・料理教室を実施し、親子で楽しむ体験の場とすることができた。
5 地域文化の継承と創造		1 文化活動の推進	(1) 文化活動の推進	社会教育係	◆文芸かわづ第22号を発行した。(発行400部) ◆文化協会主催の第41回町民文化祭(舞台、展示)を河津バガテル公園にて実施した。◆わらしべ会が作成した民話絵本の普及版3作品を20冊印刷し、図書館に設置するとともに学校、福祉施設等への配布を行った。◆『伊豆の踊子』上映会を計画し、伊豆の踊子の踊子読書感想文表彰式の後、上映会を開催した。 ◇文芸かわづは、一定の応募者数があり、小学生から大人までの作品が掲載された文芸誌となっている。◇町民文化祭は、町民をはじめ町外からも参加があり、文化を発信するとともに交流の場にもなっている。◇わらしべ会の民話絵本の普及版を作成し、継承している。
			(2) 文化施設の活用促進	社会教育係	◆生涯学習室は各団体への貸出と生涯学習講座の実施場所として活用した。◆展示スペースでは町内団体の作品や図書館事業の作品等を示した。 ◇生涯学習室の利用頻度は高く、生涯学習の場として積極的に利用されている。
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		2 生涯学習・社会教育の充実	(3) 地域文化歴史の伝承・活用の推進	社会教育係	◆町史編さん事業に伴う町史編さん委員会を12回開催した。◆文化財保護協議会を1回開催した。◆経年劣化した映画「伊豆の踊子」4作品を補修し、上映した。埋蔵文化財の対応(泉高 大松山遺跡)や文化財に関する質問への対応を行った。 ◇町内外に郷土への理解と文化財の普及啓蒙活動に努めた。

※ 大項目3の教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務における中項目、小項目については、河津町第5次総合計画の基本計画の内容による。

《参考資料》

教育委員会組織図



教育委員会委員

令和4年度

教育長

鈴木 基

教育長職務代理

植松智子

委員

飯田 守

委員

渡辺寿子

委員

石井健介(11月18日まで)金指正和(11月19日から)